

一級自動車工学科・自動車整備科

2023年度

授業計画

時期	1年A巡	単元	実習	教科名	機械工作		
科目	工作作業	教科書等 持参品	基礎自動車整備作業		発行日	2023年4月1日	
			実習ノート、筆記用具、保護メガネ、 グローブ			教科担 当	上澤
総時限	16時限				1年担任		●■

1. 指導教員の実務経験

自動車販売会社で整備士として、自動車修理における金属加工作業の実務経験がある教員により、金属加工などそれに伴う工具機器類の取り扱いを指導する

2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）

- ・自動車修理における、金属加工の技術・工具の選択・安全を学ぶ
- ・作業時の効率、納期、正確性について
- ・作業での自信を身につける

3. 授業の到達目標（何を理解し何が出来るようになるのか）

- ・使用機械工具について
 - ①正しい使用方法を身につけさせる
 - ②名称と働きを理解させる
 - ③全ての行程において安全作業を心がけさせる

4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）

- ・実習履修試験での得点評価

整備科60点以上で合格

工学科70点以上で合格

80点以上：「優」 60点以上（工学科は70点以上）：「良」 60点未満（工学科は70点未満）：「未」

再試験合格の場合得点に関わらず：「可」 再試験不合格の場合、学校長の権限により判定試験を実施し、合格の場合「可」

<出題試験項目> 使用した工具・部材などの基礎知識を習得した事を確認するための**筆記試験**と下記**実技試験**

実技① 鉄板加工 削る・切る・穴を開けるの各作業がしっかり出来ていれば満点とする

実技② 金属角材の加工 穴あけ・ねじ穴加工・折損ねじの除去の作業が出来ていれば満点とする

実技③ ヘリサートの取付 ヘリサート用の穴あけ・ねじ穴加工・ヘリサート挿入の作業が出来ていれば満点とする

5. 準備学習

- ・導入教育で工具類の名称や役割の授業で学んだ内容を復習し、基本的な工具機器類の名称を覚えておくこと。

※●⇒実務経験がある教員

※■⇒日産資格保持者

時期	1年A巡	単元	実習	教科名	機械工作	
5. 授業概要 (時限ごとの主な授業内容)					6. 教科書、資料、備品類	
時限	主な授業内容				資料、備品類	数量
1	授業内容の概要説明				バイス台と横型バイス	人数分
					鉄板・鉄角材・アルミ角材	各人数分
2	課題1：鉄板の加工と使用工具について				ヤスリ	人数分
					スコヤ	人数分
3	課題1：鉄板の加工と使用工具について				スケール	人数分
					ケガキ針	人数分
4	課題作製：ヤスリの使用方法				弓ノコ	人数分
					小ほうき	人数分
5	課題作製：ヤスリの使用方法				センタ・ポンチ	12
					ハンマ	12
6	課題作製：弓ノコの使用方法				電気ドリル	12
					ドリルの刃 (4,4.5,8mm)	12
7	課題作製：弓ノコの使用方法				卓上ボール盤	6
					ドリルの刃 (7mm、8mm)	12
8	課題作製：弓ノコの使用方法				タップセット (M8×1.25)	24
					逆タップ (#803、804)	24
9	課題作製：ドリル使用方法				タップハンドル	24
					ダイス (M8×1.25)	12
10	課題作製：ドリル使用方法				ダイスハンドル	12
					ボルト M8-1.25	人数分
11	課題2：折れたボルトの抜き取り作業とタップ立て作業とダイス立て作業				ラチェットハンドル、13mmソケット	12
					ヘリサートタップセット (M8×1.25)	24
12	同上				ヘリサート	人数分
					挿入工具 (M8×1.25)	人数分
13	課題作製：卓上ボール盤の使用方法				ドリルの刃 (8.4mm)	12
14	課題作製：逆タップの使用方法				ビデオカメラ	1
					カメラ用三脚	1
15	課題作製：ダイスの使用方法					
16	課題3：ヘリサート作業					
17						
18						
19						
20						